やまうちってどんなとこ？⑦

立岡　秀寿
土山小学校
校　長

山内の子ども達を迎えて

山内小学校児童21名を土山小学校に迎えて、全校180名の学校としてスタートしました。鮎河、山内地域の子ども達を迎え、新しい土山小学校として様々な活動を見直しながら取り組むことを今年度の方針としてきました。その中で、山内小学校より教員４名も転入し、山内地域の子どもたちが安心して楽しく学校生活が送れるように努めてきました。

初めてのバス通学の子どもたちもすっかり登校に慣れ、校門での元気なあいさつから一日が始まりますが、この２学期間、子どもたちが元気に登校するだけではなく、様々な場面で活躍をしてくれています。

６月の鈴鹿馬子唄大会では、これまでの練習の力を発揮し、多くの子どもたちが上位入賞を果たしました。７月の甲賀市水泳記録会でも，力いっぱい泳ぎ切り、上位入賞し、持てる力を十分に発揮してくれました。

９月の運動会では、これまでにない多くの友だちと力を合わせた集団の魅力を、堂々とした演技で披露できました。また、山内小学校運動会の恒例種目だった一輪車の演技を本校でも取り入れ、器用に一輪車を乗りこなす姿に大きな拍手をいただきました。

11月には音楽会がありましたが、うちわを使ってうまく工夫して大切な効果音を演奏したり、合唱のピアノ伴奏をしたり、学年の中心となって活躍する姿も見られました。山内の黒川地先の田んぼをお借りし、取り組んだ稲作体験でしたが、その収穫祭の活動においても、進行役として学年をリードしながら活動ができました。

これら行事だけでなく、日常の学習や生活においても、自分の良さを表出しながら、多くの友だちと活動を楽しむ姿、これまでできなかった遊びに夢中になる姿等が見られます。しかしながら、人数が増えた分、これまで以上に気を配ることやがんばらなくてはならないことも増え、今後も、子どもたちの様々な想いに寄り添いながら、本校の大切な宝として子どもたちを見守り、育てていきたいと思っております。地域でお気づきの点などありましたら、どうぞ学校へもお聴かせいただければ幸いです。よろしくお願い致します。

シリーズ 人権の窓

「学校、行かない」尾木直樹さんの「呼びかけ」から

夏休みが終わり、多くの学校で２学期が始まる９月１日は、統計上、16歳以下の子どもの自殺が１年で最も多い日である。いじめなどの悩みを抱える子どもたちはどうすればいいのか。子どもの命を守るために、保護者や教員には何ができるのでしょうか。

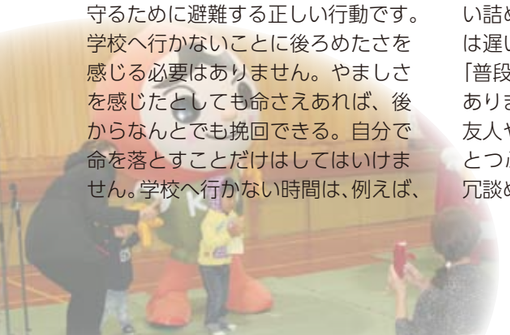
１学期にいじめられたり、トラブルがあったりした子どもたちへ…

朝から頭痛がしたり、玄関で動けなくなったりしたら、学校へ行かなくていい。「緊急避難」してください。ここで学校に行かないのは逃げではありません。災害と同じように命を守るために避難する正しい行動です。学校へ行かないことに後ろめたさを感じる必要はありません。やましさを感じたとしても命さえあれば、後からなんとでも挽回できる。自分で命を落とすことだけはしてはいけません。学校へ行かない時間は、例えば、ボランティア活動に参加したりして、新しい人間関係をつくることも大切です。自分の中で新しい目標を立ててください。図書館に行って興味を広げるのもいいでしょう。保護者は、今日、学校から帰ってきた子どもの様子に、特に気を配ってほしい。夏休みの間のびやかに過ごしていた子が、学校で１学期と変わらず嫌な思いをすると、落差が大きくてすごくしんどくなります。帰ってきたら「どうだった？」「何かあったら言ってね」と声をかけてほしい。そして元気なうちに「学校を休んでもいいんだよ」と言ってあげてください。追い詰められ、判断力が落ちてからでは遅いのです。自殺した後、周囲が「普段と変わらなかった」と言う事がありますが、そんな事はありません。友人や祖父母など誰かに「死にたい」とつぶやいたりしていたはずです。冗談めかしているかもしれませんが、聞いた人は親や先生に必ず相談してください。

…とこの記事を読んで私は今年度から少人数の学校から多くの子どもがいる学校へ通う山内の子ども達の事を思いました。

昨年度、山内小学校は143年の歴史に幕を閉じました。そして子ども達は今、土山小学校へ新たな出発に希望を持ちながら通っています。山内小学校の歌詞にある「学びの庭のわかきぐさ　やがて世に立つ花となり　実となるつとめ怠らず　正しく強く生ひ立たん」のように、誠実で人を思いやる心や責任感、そして自信と誇りを持って学校生活を過ごしてほしいものです。（山内人推協 中島）

快晴やまうち Vol.19
2017(平成29)年12月25日
発　行：山内自治振興会
編　集：山内夢づくり部会会報班
事務局：滋賀県甲賀市土山町黒川1970
TEL&FAX：0748(70)2322
Email：yamauchi11@ac-koka.jp
山内自治振興会



Fine weather Yamauchi

情緒豊かな四季彩の郷やまうち情報紙

快晴やまうち

Vol.19
2017.12.25
発　行
山内自治振興会

山内自治振興会　平成29年度事業中間報告　12月常会資料版

やまびこ文化祭開催

展　　示　11月20日(月)～22日(水)
イベント　11月19日(日)　会場　旧山内小学校

今年は公民館と区長会と自治振興会の共催で「やまびこ文化祭」が開催されました。19日のイベントは閉校になった小学校のグラウンドと体育館を使って試食や模擬店、ステージイベント等が行われました。

午前中は小学校１階にて体験イベントの切り絵、折り紙、アロマスプレー、２階ではニュースポーツ、また同時に小学校周辺を巡るウォークラリーが行われました。

午後からはグラウンドにて恒例の鹿カレー試食や各種バザー、また委員の紹介により、ベトナムからの実習生によるベトナム料理の試食等、初の試みもありました。

午後からのステージでは六友会の太鼓、ベトナムの若者によるダンス、大道芸人のジャグリング、マジックショー、草津市よりお越しいただいた「歩(ぽ)・歩(ぽ)」の人権ライブ、地元岸上君の弾き語り、そして最後にお楽しみ抽選会が行われました。寒さのためか抽選券を持って帰られて、その場におられない方が多く、中々当選者が出ませんでしたが、大変盛り上がって終了しました。

盛り沢山のイベントで多くの世代の方に楽しんでいただけたことと思います。

ひとり一人が主役です。山内自治振興会

安心環境部会

地域消防器具安全点検事業

黒滝、笹路、中之組、山女原地区で実施され、一部の区では同時に防火訓練も実施していただいています。まだ報告書の出ていない地区もありますので年度内に提出していただきますようお願いします。（実施後振興会事務局にある点検済シールを必ず貼って下さい。）

◀山女原区による防災訓練

鳥獣害対策事業

昨年4月より53頭の捕獲をしました。

現在、従事者12名、箱罠11基、ドロップネット1基、囲い罠1基で地域ぐるみ捕獲推進事業に取り組んでいます。

やまびこ文化祭で鹿カレー、鹿コロッケを提供しました。

美しい里山再生事業

7月23日、寒所の緩衝帯の草刈りを行いました。

山内夢づくり部会

ふるさと資源活性化事業

4月23日、苗木300本植樹。

6月16日、アロニア栽培地の現地確認、6月24日、草刈り。

8月5日からお盆前にかけて約30Kgのアロニアを収穫しました。

また、やまびこ文化祭でアロニアジャムの販売を行いました。

特産品の開発事業

8月5日、地元産の米粉を使った「どうかん団子」の販売を今年も実施しました。90パックが完売しました。

11月19日の文化祭では、手作りの赤飯、味噌、アロニアジャムの販売を行いました。

四季彩の郷若者育成事業

▲和太鼓六友会「やまびこ文化祭」にて

本年度も「和太鼓六友会」に支援事業をしています。

六友会は今年も市内各地のイベントに招待され、活発に活動されています。

山内っ子こども教室事業

山内の子どもたちを対象に「夏休み教室」を開催しました。

第1回8月2日（水）、第2回8月8日（火）…宿題、英語学習、体育館で交流。

第3回12月28日（木）…宿題、英語学習、百人一首等。

ホームページ

昨年12月以後山内の“ホット情報”を14件届けました。各区からの投稿をお待ちしています。

http://yamauchi-jichi.com

会報誌・広報

▲快晴やまうち第18号　▲快晴やまうち第19号

6月1日「快晴やまうち」第17号、8月1日第18号を発行。全戸配布しました。

今回の第19号は12月に配布。

事業交付金委員会

6月22日、各区々長、自治振興会理事による委員会が開かれ、平成29年度の基礎交付金配分と平成29年度の概算要求について説明が行われました。

協議項目は防犯灯、ゴミステーション、消防機材、区活動交付金等です。

30年1月に実績申請、下旬の交付となります。なお30年1月には来年度の概算予算申請をしていただきます。

地域福祉部会

山内の名人発掘事業

11月26日第5回目の山内名所ウォークとして笹路地区の散策を実施しました。

晴天に恵まれ、43名（内12名は地区外）と大勢の方々の参加がありました。

午前10時に市民センターを出発、第二名神の鈴鹿トンネルの入口見学から三子神社へ。神社では甘酒が振舞われました。六部塚、富士山さんの説明を聞き、圓通寺参拝。お昼には笹路公民館で、地元役員のご協力により豚汁が振舞われました。

やまびこドーム管理業務委託事業

5月1日より、山内ゲートボール連盟の皆さんで管理作業をしていただいています。

山内学区民球技大会

6月4日、宮の下広場で開催。

人権尊重

「快晴やまうち」創刊号より“シリーズ人権の窓”を設けて啓発記事を連載しています。

やまびこ文化祭では「人権まもる君とあゆみちゃん」に登場してもらい、また人種ライブも行い啓発に努めました。

健康推進活動事業

甲賀市で取り組まれている「いきいき100歳体操」に自治振興会でも取組んでいます。

公民館和室にて、毎週火曜日に実施しています。

高齢者見守り支援事業

12月9日、地域見守りに防災を組み入れた研修会を開催しました。今回は見守りに関わる地区役員を中心に、地域ごとに分かれて簡易DIG訓練と、危機管理課よりの講義を受けました。ワークをしながら普段からの供え、地域見守りを確認しました。

山内敬老会

10月8日に開催。60名（対象者196名）の参加者の下、岩永甲賀市長より祝辞をいただき、小学生の出し物、ふらんしーずの演奏後土山地域包括支援センターの講話、アウルアンサンブルの歌と演奏でなごやかな1日を過ごしていただきました。

事務局

先進地視察

12月17日、小学校閉校後の校舎活用の先進地視察に再編検討協議会と自治振興会の合同で行って来ました。京丹波町・質美笑楽講、綾部市里山交流研修センターはそれぞれ閉校後の小学校を利活用された施設で、質美笑楽講のランチルーム等を見学しました。